

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2024年

10月

230号



- ◇ 仏教が分かれば人生が楽しくなる
- ◇ ストレス社会を生きる方法
- ◇ 幸せを引き寄せる徳積み法



ホームページ

宗教法人 真生会

令和六年信仰目標

利他行を実践しよう!!

『幸せへの近道、一日二つ人のため!』

真生会の教えとは!

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声がけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

歓迎！ 32 回大観音祭り

◇ 10月27日（日） AM 10：30開式

- ★ご家族で是非直接参拝ください！！
- ★ YouTube でライブ配信予定
（真生寺ナムルチャンネルでご覧頂けます）

♣各種ご供養受付中♣

子孫繁栄総供養

大観音特別胎内仏供養

福運健康紅白餅供養

能登半島豪雨災害救援金募集！

能登半島の皆様には1月1日に襲った地震災害の復旧途上の努力の中、度重なる豪雨災害に心からお見舞い申し上げます。つきましては、真生会会員皆様とひかり読者の皆様に救援金のご協力をお願い申し上げます。各教会設置の「いつでも救援募金」募金箱または真生会救援基金の口座にご送金ください。お預かりしたご浄財は石川県庁に寄託致します。

◇第1次募集期間 令和6年10月末日まで◇

振込銀行 三菱UFJ銀行 岐阜支店

口座名 宗教法人真生会 救援基金

普通口座 0133193

彼岸先祖大法要各地へ会長先生ご巡教



真生寺ご真教法話

九月一日より会長先生ご長男祥陽（旧名、光隆）さんが教団に奉職され、会長先生のお供修行として九月八日大阪教会、十五日真生寺、十六日名古屋教会のご巡教に随行されました。今後のご活躍を期待します。



祥陽（よしはる）の選名拝受



大阪教会ご巡教



大阪教会お供修行



名古屋教会ご巡教



開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

たなか ひでひと

苦なくして悟りは開けません。經典に

「ぼつくとよろしく抜苦与樂」とあります。わかりやすく申

しますと、九（苦）を通らないで十（充）

にはならないということです。人間である限り、大なり小なり苦のない人はありません。

この苦を乗り越える方法は唯一つ、苦しみの中から喜びを見出してこそ、初めて幸せが生まれて来ることを知らねばなりません。

喜びを見出す方法は、自分の徳分、即ち過去の善行の実績を知って、現在の自分よりちよつと下を見れば、まだまだ護られている事に気付くはずであります。この時初めて自分の周囲には喜びが充満していると自覚でき、直ちに運命は好転し始めるのです。

（1983年、真実に生きる41号より）

ぶし眞教法話

会長 田中庸仁
たなか つねひと



◇仏教が分かれば人生が楽しくなる

この世の中は苦の娑婆しゃば 忍土にんど と言い「人生は思い通りにはならない」というのが仏教の原点であり、苦の娑婆に生まれて来て良かったと思えるようになるための智慧が仏教の教えです。

世の中は思い通りにならないことの方が普通であるということが分かれば、小さな良いことでも喜べるようになり人生が楽しくなります。

この根本が分れば壁にぶつかったり、人と衝突して悩み苦しむ事は無くなり今日からの人生が変わります。苦の娑婆・忍土に生まれて来たのは思い通りにならないことを忍んで※1 仏性を磨き出し、一歩でも悟りの境地に近付き成仏するための修行の人生であると気付けば、苦に会おうたびに「また一歩仏に近

付けるチャンスである」と人生が楽しくなるのです。

思い通りにならない人生を楽しくする方法は「布施の徳を積む」ことです。つまり、相手の喜ぶ言動を施すことです。人に喜んでもらうことで自分の心が豊かになり、生まれて来て良かったという実感が得られるのです。

おもしろきなき世を面白く、住み成す者は心なり※2

面白くない世の中を面白く感じるかどうかは、この世に住んでいる自分の心の持ち方次第であるという意味。

◇ストレス社会をどう生きるか

現代社会はストレス社会です。病気の多くは、親子、夫婦、隣近所、会社などの人間関係による重圧や嫌悪感、承認欲求※3から来る失望や不平不満が募り、心の底から怒れたり、心が折れたり、心が腐ったりするのが原因です。世の中には、何でも先ず反対し、行動する前から消極的で「でも…、だって…、しかし…」と出来ない理由を一生

※1 忍とは我慢することではない。良きに悟って喜びに切り替えることです。

※2 激動の幕末を生きた高杉晋作の辞世の句。下の句は野村望東尼（女流歌人）による。

※3 自分の働きを公正に評価して認めてもらいたいという気持ち。

懸命探すネガティブ志向の人や何にでも文句を言うクレーマーがいます。そういう人と話をしているとこちらまで心が暗くなってストレスが溜まります。

クレーマーから身を守るには三つの方法があります。

① 発言の否定をしない

・相手の言い分を全部聞いて不満の泥水をすべて吐き出させる。

・傾聴は布施の一つです。スツキリするまで愚痴を聞いてあげるとは相手に満足感を与える無財の布施です。途中で論じたり意見きえんを言うとは不満の矛先ほこさきがこちらに向かって来るので辛抱強く聞きましょう。

② 聞き流す、距離を取る

今は何を言っても分らないから、怒りや不満の火に油を注がないように心掛
け落ち着くまで時を待つ。自分の心のキャパを越えていると思ったら、そう大
変だねくと嫌なことは耳で聞いても心で聞かず、さらりと聞き流す。又は「触
らぬ神に祟りなし」で、いったん緊急避難として距離を取ることです。

③ 自分の成長の糧かてにする

聞くも縁、相手を自分の鏡、仏さまの声と違って自分を切り替えていく機縁

とする。

真生会のご詠歌に「無理言う人は子供だと悟りて怒らず
哀れめよ」とあります。子供のことを俗にガキと言います。

【ガキⅡ餓鬼】

・何事も自分の思い通りにしたい。〇〇して欲しいという
喜びの飢餓状態であり、我がままで欲深の心貧しい人です。
・人の良い所よりも悪い所ばかりが見える孤独な寂しい人
であり可哀相な人です。

クレマーになる人と人相が貧相ひんそうになり、いつも不機嫌ふきげんそ
うな顔になり人が離れていきます。

自国ファーストの究極は戦争であり、自分ファーストは
自己中心であり、現代は「餓鬼の世界」になっています。

自己中心の無理を言う人は子供Ⅱガキなのだ、心の狭い
可哀相な人と悟り、餓鬼のペースに巻き込まれて怒って
はいけないのです。



【旦那(檀那) 〓ダーナ】

餓鬼の反対は旦那(ダーナ) 〓施す人を与える人です。

旦那衆とは長者のことであり、地域や人のために財をもつて尽くす「お大尽」のことで、人の良い所を見る人、さまざまな出来事の良い所を認める人、相手が喜ぶこと、嬉しいことを与える徳人です。

あなたの毎日は餓鬼の時が多いですか、旦那の時が多いですか？振り返ってみましょう。施す人 〓旦那になればストレスが減り、心が豊かになり楽しく不安や心配のない毎日が送れます。

大切なことは自分が気付かないうちに餓鬼の心にならないことです。人の振り見て我が振り直せ。近付いてくる人は自分の鏡だと思い、自分にもこの人と同じように「何事も自分の思うようにしたい」という欲の心と「感謝が足りない」愚痴不満の心があるのだろうなと気付き、自分の人間向上の種と違って旦那(ダーナ)の生き方の糧にすることです。

釈尊はクレーマーにこのように対処されました。

ある時大勢の大衆の前で一人の学者が、お釈迦さまに言いたい放題の悪口、

罵詈雑言を浴びせかけました。

お釈迦さまは微動だにせず、じつと目を閉じて男の話が終わるのを待たれました。悪口を言い尽くした男は何の反論もされない釈尊に「どうだ、何も言えないだろう」と勝ち誇りました。

すると釈尊は「男よ、あなたが手土産をもって知り合いの家を訪れたとしよう。もし相手がそれを受け取らなかつたら、どうするであろう」

(学者)「相手が受けとらなければ、持ち帰るしかない」
(釈尊)「そうであろう。私は今あなたの言ったことを受け取らないので、あなたの言った言葉はすべて自分が持ち帰るがよい」学者は勝ったと思った自分が恥ずかしくなり、その場を立ち去って行ったのです。

◇ 幸せを引き寄せる徳積み法

熱心な母親が幼稚園の先生をやっている三十半ばを過ぎ

秋
思



た長女に結婚のできる心構えを聞かせたいと法座会場に連れて来られました。

（開祖）「女性の幸せは、炊事掃除洗濯の女中の仕事を喜ぶことですよ。」

（長女）「先生の話をお聞きして結婚することを諦めあきらました。どうしてかという
と私は炊事掃除洗濯が苦手で嫌いです。だからきつと幸せになれないと思うか
らです。」

（開祖）「一ができないなら二の方法で努力するのが正しい生き方です。女中の
仕事は苦手なら、園児を喜ばせて徳を積むことです。」

（長女）「それも無理です。言うことを聞かない園児にはいつも怒っています。」
（開祖）「園児は商売で言えばお客様であり、腕白な園児のお陰で給料がもらえ
るのです。明日からお弁当のおかずを二人分作り、園児に順番にあげなさい。
先生のおかずをもらった園児たちはきつと喜ぶでしょう。」

（長女）「それなら出来ます」とさっそく素直に実行すると、園児たちの大人気
の先生となり、親さんたちからも感謝され、半年ほど幸せなお見合い結婚が
出来たのです。人生は徳が本もとです。自分のできる徳積みを実行すれば必ず幸せ
がやって来るのです。

先達の名言、名句

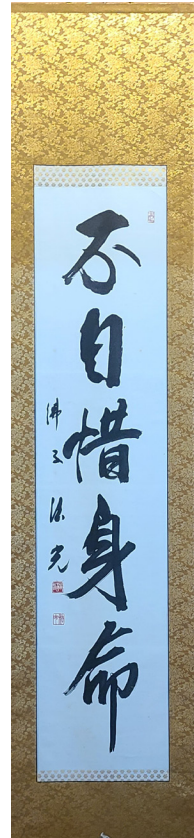
◇不自惜身命ふじしやくしんみんみょう（法華経如来寿量品の一句）

開祖さまの座右ざゆうの銘めいともいえる經典の一句です。

「自ら身命しんみんみょうを惜おしまず」とは、自分の因縁切り替えや苦勞を乗り越えるために齒を食いしばって必死になり、命がけになって頑張ることではありません。

「自分の我を捨てて、答えは仏さまにお任せします」と心から仏さまを信じ教えを信じることに命がけになることなのです。

すべての現象を仏さまの計らいであるとおりのままを素直に受け止め、自分のできる限りの努力精進をして結果は仏さまにお任せする。仏さまはきつと良い方に導いて下さるといふ不退転ふたいてんの心で仏さまの御心みこころの中に飛び込むことなのです。



今月の運勢（11月）

（2024年11月7日～12月6日）

一 白水星

苦勞が重なりますが、いかなる困難にもくじけず最後まで初志を貫き通すことが大切。苦難によつて鍛えられ人間としての深みが増す。真正面から誠実に行動すれば至誠は天に通じ願ひ事は叶う。

二 黒土星

大地のようにゆつたりと構え、何事にも動じないこと。従順さと包容力をもつて相手を包み調和と統一を計り、思いやりのある態度を保持すれば良き指導者を得て実りも大きい。

三 碧木星

突然新しいことが始ま

るが、周囲がその様子を見てるので、驚き慌てふためいてはいけない。平素から自分を見失わないように鍛えておこう。泰然としていれば後に福となる。

四 緑木星

相手の気持ちをつかみ、相手の腹の中に飛び込もう。運氣は強いが大きな事は考えないこと。よく人を選び謙虚な気持ちで流れに沿つて従えば小さな願ひは通る。

五 黄土星

すべての人の中心にいる。相手のこともよく見えるが自分の事も周囲から見られているの

で、今は大きな事や新しいことを始める時ではない。腰を据えてエネルギーを蓄えよう。

六 白金星

条件が整い新しいことが動き出し、願ひ事は大いに叶う。但し天の動きが刻々と変化しながらも一貫性をもつて動いているように何事も持続して行うことが大切である。

七 赤金星

大きな収穫が得られ心から喜びの情がこみ上げてくる。しかし正しい方法で得た収穫でなくてはならない。棚からぼた餅のようには得られない。平素から地

道に積み重ねが大切。欲を止めることが最も大切な時。何が起きても心を空にして外の世界に一々心を動かされないこと。すべての出来事は心の持ち方次第でどのようにもなると肝に銘じよう。

八 白土星

何事も一人でやらず、良き指導者の下で仲間と一緒にを行うことを心掛ければうまく行く。他人の言葉によく耳を傾け、謙虚な気持ちを失わなければ何事も吉となる。特に家族を大切にすることを心掛けよう。

九 紫火星

何事も一人でやらず、良き指導者の下で仲間と一緒にを行うことを心掛ければうまく行く。他人の言葉によく耳を傾け、謙虚な気持ちを失わなければ何事も吉となる。特に家族を大切にすることを心掛けよう。

「まごころ誌代」御礼

清崎聖良	坪井祥子	松本真由美	伊東 晃	早野起世
小村友子	平口富子	京川春男	安田初子	早野桂子
出田 渚	奥田佳代	鈴木正巳	増田恵視子	高橋身衣
大西啓依子	坂本育身	亀井善二	横井志奈子	宮田雄貴
細谷早予子	笹原正子	四日市某	田中庸仁	多田佳央
林田早紀子	笹原トミ子	岸本昌子	田中佑季子	足立和美
池澤幸代	村上規佑記	岸本周夫	田中祥陽	足立恵衣子
東島佑樹	樋口容子	土川順寛	田中理夏子	山田佳延
滝山恵依子	樋口恵美子	土川恭代	田中宏明	多田正幸
宮島りえ	石丸祐視子	土川康二	田中花音	多田道子
荒木敬依子	出田 溪	土川廣美	熊田啓予	大橋末子
堀田純子	長尾かれん	横山知津子	後藤千代子	多田敏春
永田雅子	細谷早予子	某女	亀井善広	松尾定洋
谷口祐晟	林田早紀子	山本季美衣	亀井由実子	鈴木光隆
谷口祐子	滝本光夫	佐藤百々枝	飯田昌子	豊田直正
大下裕子	福元正子	佐藤光洋	飯田修五	豊田真悠子

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

人は二人の人から生まれて来る。
だから、一人では生きて行けない。
家族や友人…と繋がり合い、支え合って生きている。
誰かと一緒にいられることが幸せ。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|----------------------------------------------|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします